

たちみんな日替わりで仮装をします。「子供の頃のヒーロー、国と文化、タイムトラベル、生徒・先生入れ替わり、グループ仮装」とテーマは五つです。授業もさぼったりして、学年みんなで校庭やら校内で騒ぎます。ファッションショーをおこなったり、みんなでサッカーをしたり、学年クイズとか公園でピクニック、クラスメイトとの最後の時間を楽しみます。仮装のアイデア集めと作る作業がとても楽しいです。授業をさぼるのは禁止でも、先生は見ないふりをします。参加する先生もいます。

二つめの行事はアビの悪戯(いたづら)です。アビの試験が終わってからもほかの学年は授業があるので、卒業生が学校に戻って悪戯をします。紙吹雪をばらまいたり、音楽を大音量で流したり、ほかの授業の邪魔をしたり。

去年卒業した子たちは、机でピラミッドを廊下につくり、階段を通行止めにしていました。それに大きい泡を作る機械を借りて、校庭で泡合戦を開催しました。日本だととてもありえない文化です。学校をめちゃくちゃにしてももちろん悪戯をし終わったらすべて掃除して片付けます。でないとさすがに先生も許可をくれません。

三つ目の文化はプロムです。卒業式の夜に大きな会



場を借りて、大きなパーティーがあります。会場を借りるのにかかるお金は2万ユーロ(380万円)を超えることもよくあります。先生、生徒、親、そして友達と親せきが混ざり、みんなでアビトゥーアを祝うのです。スーツとかボールガウンをわざわざ買うのが標準で、きれいな恰好をします。

アビの試験は、選択した三つの専攻科目と二つの副科目の5教科を受けます。専攻科目は300分(5時間)、副科目は240分(4時間)書きます。特徴的なのは、自分で文章を書くことが多いことです。詩の解釈や政治・社会問題の分析、翻訳と、知識のみじゃなく考え方や考える力、そして問題解決の方法を確かめる試験です。

僕はアビを取ってからギャップイヤーを取り(すぐ大学に行かないで1年遅らせる)、世界を旅したいです。とくにヨーロッパは気軽に行き来できて、きれいなところが多いので楽しみです。

ごみかん会員のみなさん、明の成長記録をこれまで読んでいただきありがとうございました。これからもお元気にお過ごしください。



2016年9月の号から10年弱、隔月発行なので年に6枚、合計58枚のイ

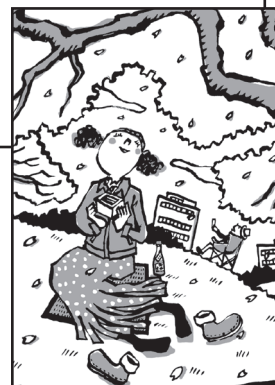
ラストを描かせていただきました。休むことなく続けられたのは、編集の真紀子さんとのやりとりが毎回楽しかったから。ぎりぎりまでお待たせしてしまったことも多々ありました。10年間ありがとうございました。

ごみと・SUNのウェブサイトのバックナンバーを紹介するページに、見やすく全ての表紙をアップしてくださっているので、この文章を描くにあたり懐かしく見ました。当初はなんとか記事の内容とリンクした表紙の絵にできたらと思って描いていましたが、ごみ問題にも絵にしやすいタイプの話題とそうでないものがあったりして、なかなか記事に合わせて描くのは難し

く、次第に季節の絵の背景にごみ収集車が停まっていたりごみ箱があったりするような絵になっていきました。好きなように描いてくれれば良い、とおっしゃってくださっていて、なので本当に好きなように描かせていただいていたと思います。

10年前はまだ子どもが小さく子育て現役な毎日だったので、小さな子どもを連れた生活の描写がリアルで良いとか、筆跡をよく見ると2020年頃までは主線は筆と絵の具で描いていたっぽいとか(今はパソコンで描いています)、コロナ騒動の最中や、コロナから元の暮らしに戻りつつある感じや、戦争や、能登の地震などご時世も少しずつ反映されていて、文字通りライフワークになっていたんだと思います。

10年だもんなー、無くなると寂しいなー。本当に本当にありがとうございました!



コロナが始まった2020年3月の表紙イラスト(部分)

ヤスミチさんへ

ヤスミチさんは私の息子と同じ年。当時はまだ30代で、家事・育児をばりばりこなすアーティストと、最初はどうかやりとりしようか緊張しました。でもヤスミチさんはFacebookで仕事や生活の様子をまめに発信しているので、我が子よりもその生活ぶりがわかるようになりました。お願いしたイラストはどんなに忙しくても細部まで手を抜かない、そしてぎりぎりでも絶対に間に合わせる。これが編集する者にとってどれだけありがたいことか! これを読んでいる会員さん、ヤスミチさんのイラストのお仕事が生かせる場所があれば、ぜひ紹介していただきたいです。(いの)